

見える化改革「共助・共生社会づくり」 取組状況報告

令和元年12月27日

生活文化局

コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立

- 見える化改革報告「共助・共生社会づくり」（平成30年10月報告）で共助社会づくり、多文化共生社会づくりの課題を整理
- 効果的な推進体制、在住外国人支援事業の拡充及びボランティア文化のレガシー化について、検討を行うこととした

基本的考え方

- 東京の活力の源泉は「人」であり、人と人をつなぐ取組を更に進めていくことが大切である。
- 都におけるコミュニティは、在住外国人の増加や都民の価値観の多様化を背景に、変革期を迎えており、新たな視点を導入し、活性化を図っていく必要がある。
- 東京2020大会を機に、多くの外国人が東京を訪れており、多文化共生意識が高まってきている。また、大会関連のボランティアが誕生してボランティア意識が醸成され、共助社会づくりの気運も高まってきている。
- こうしたレガシーを活かし、次の世代へ着実に引き継ぎ発展させるために、コミュニティの活性化を支援する新たな財団を令和2年10月を目途に設立する。

新財団による事業展開の狙い

- 様々な人が安心して暮らせる **多文化共生社会づくり**
- ボランティア文化が定着し相互に助け合う **共助社会づくり**



人が輝く東京の実現

コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立

財団による事業実施のメリット

①地域に密着した専門人材の確保

・多文化共生社会づくり、共助社会づくりを着実に推進するために、これらの分野に精通した地域の特性にも明るい専門的な人材を継続的に確保することができる。

②民間団体等との継続的連携

・多文化共生社会づくり、共助社会づくりについては、これまで民間団体等が多くの役割を担ってきた。施策を効果的に推進するために、民間団体等との継続的・安定的な顔の見える信頼関係を築き、相互連携のもと、ネットワーク化を図ることが可能となる。

③柔軟な執行体制による機動的な事業展開

・予算や人事面等において柔軟な執行体制が可能となり、諸状況の変化に即応し、社会的ニーズを先取りした機動的な事業展開を図ることができる。

取組の柱

【多文化共生社会づくり】

在住外国人の急増・多国籍化の進展を踏まえ、多様性が尊重され、誰もが安心して暮らし、参加・活躍する多文化共生社会づくりを推進する。

【共助社会づくり】

東京2020大会後もボランティア気運が継続する環境づくりや、町会・自治会を中心とした地域コミュニティの活性化を通じて、共助社会づくりを推進する。

コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立

多文化共生社会づくり

新財団による新たな取組

東京都国際交流委員会のこれまでの事業を順次引き継ぐとともに、喫緊の課題に対応するための新しい取組を実施することで、在住外国人支援事業の拡充を図る

【ワンストップ相談ナビと都内窓口支援】

- ・外国人からの電話相談を多言語で受付、適切な窓口等につなぐ
- ・人材育成、事例共有などにより地域の相談窓口を支援、強化

【地域日本語教育の推進（体制づくり）】

外国人が生活に必要な日本語能力を確実に身に付けられるよう、地域のNPOなどと連携し、日本語教育の体制づくりを支援

【通訳派遣事業】

少数言語は区市町村単独で対応が困難なため、通訳派遣や同行通訳を実施

【「やさしい日本語」の活用促進】

外国人に対する有効なコミュニケーションツールである「やさしい日本語」を活用し、外国人と日本人の相互理解を促進

コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立

共助社会づくり（ボランティア）

新財団による新たな取組

課題解決のため、新たな仕組みを運営

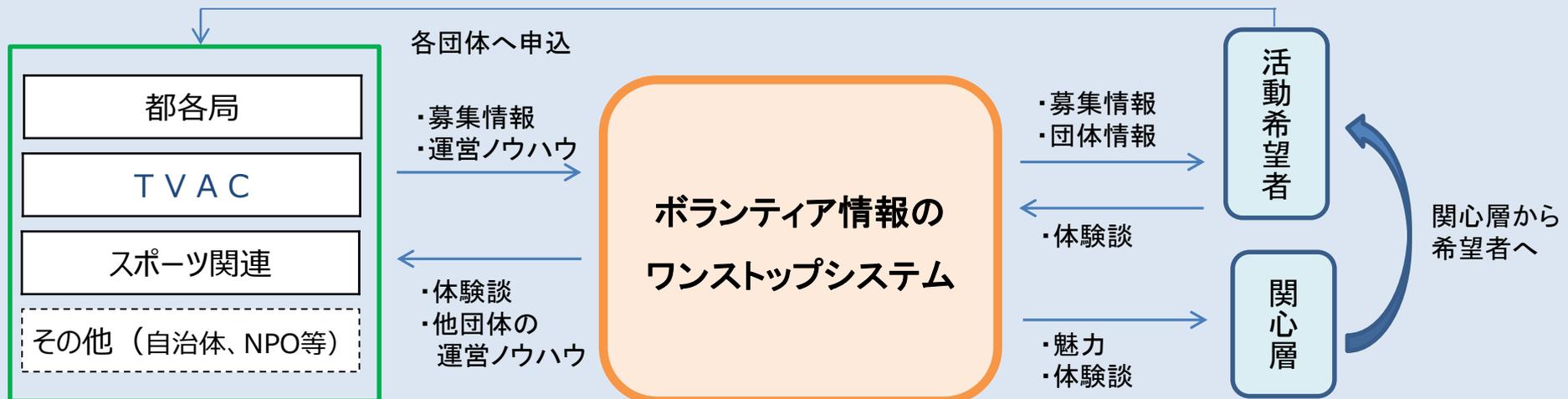
○東京2020大会のレガシーとなる他に類を見ない「ボランティア情報のワンストップシステム」を運営

⇒ 複数の中間支援組織（TVAC、スポボラネット）等との連携により、ボランティア活動に関心のある人と団体やコーディネーター双方に有益な情報を収集・提供することで、好循環を作り出す

（情報の例）・多様な興味関心に応じた活動情報 → **活動の継続**

・ボランティアの魅力を伝える体験談 → **裾野の拡大**

・先進的な取組で成果を挙げている団体の運営ノウハウ → **団体のコーディネート力の向上**



コミュニティの活性化を支援する新たな財団の設立

共助社会づくり（地域コミュニティの支援）

新財団による新たな取組

事業を再構築・充実し、新財団で実施

○ 地域コミュニティ活性化プロジェクト

新たに財団に配置する「地域活性化コーディネーター」が、個別の町会・自治会に対し、地域の企業・NPO・大学等と連携しながら地域の課題に応じた支援を行う

